

輝け！ 一小子 No.12

発行者 校長 上村哲也

落ち着いた雰囲気の中で 元気に学んでいます

3学期がスタートしておよそ一か月が経ちました。コロナ禍の中、おかげさまで大きな混乱もなく、楽しそうに前向きに学習に臨む児童の姿をたくさん見ることができます。

年度当初の長期休業により、計画を大幅に変更した学習も、その後は順調に進み、各学年の学習内容を履修する目処が立ちました。今後は、学習の定着状況をしっかりと見極め、学習のまとめをしっかりと行っていきたいと考えています。

校内持久走大会 子どもの姿から思うこと (1/27 から 1/29 4年生以上で実施)

今年の持久走大会は例年と異なり、学級毎にタイムを計測して順位を競うという方法で実施しました。学年全体を見渡して走ることができず、タイムで競い合うことの難しさを感じていたようですが、親しい友だちと少人数でレースを行ったことで、お互いの健闘をたたえ合う姿を数多く見ることができました。また、男子から女子、女子から男子への声援も多く、清々しさを一層感じる大会となりました。

ところで、持久走のよさは、「自分の気持ちとのたたかい」を誰もが同じように経験できることにあると思います。上位をねらっている児童はもちろんですが、児童それぞれが自分なりの目標を定め、その実現に向かって絶えず自分の強さや弱さと対話をしているのだと思います。走った結果や経過から自分を顧みることができ、貴重な機会となったことと思います。喜ぶ児童や悔しがる児童などいろいろな様子でしたが、すべての児童に、これを契機として、さらにたくましくなってもらいたいと思いました。



持久走大会はやはり貴重な行事であると改めて感じました。

・・・レース後の後片付けに進んで取り組む児童を見て・・・とても嬉しくなりました。

上毛新聞社「ジュニア俳壇」 新聞掲載作品の紹介

- ◇上見上げ 空おおうほどの イチョウの葉 6年 佐々木璃和 (朝の一句)
- ◇秋の休み 読書をしながら 過ごす日々 6年 柴田康平 (朝の一句)
- ◇海に山 頭の中の プライベート 5年 菅谷秋桜
- ◇合唱団 虫のメンバー 変わってく 5年 下川空知
- ◇夏終わり 野球楽しい 声がする 5年 松永泰知
- ◇虫たちが 無観客での コンサート 4年 山本優風
- ◇ちとせあめ つるのえながいき おまもりに 4年 孫 琳恵
- ◇寒くなり かんきするのが いやになる 4年 新井ひまり
- ◇雪がふり 祖父といっしょに 道づくり 4年 河嶋孝樹
- ◇山は雪 家の周りは 晴天だ 4年 大島杏奈



これからも、俳句づくりを楽しんで、どしどし応募してください！

6年生の体験学習「能楽を学ぶ」1/27(水) 体育館にて

子どものための文化芸術体験機会の創出事業（文化庁主催）

日本能楽協会より、狂言師の能村晶人さん、野村万之丞さん、河野佑紀さんをお迎えし、能楽について学習しました。

はじめに、能楽について解説していただき、次に、狂言「柿山伏」を上演していただきました。その後、狂言の動きを体験し、最後に、質問をして学習を終えました。

「柿山伏」は社会科の歴史で学び、国語の教科書には教材文として掲載されています。学習した内容を体験でき、楽しく、貴重な学習となりました。

外部から講師の方を招いての学習は、いろいろなことを学べる機会であり、価値ある学習だと考えています。今回の体験学習から、もちろん狂言を直接見て、芸術文化に興味・関心をもった児童は多いと思いますが、その他にもいろいろな事を学んでいたのだろうと感じています。



私は例えば次のようなことを感じました・・・

- 子どもに語りかける講師の豊かな表情や張りのある声、美しい立ち居振る舞い
- 一つのことに打ち込み努力を重ねる考え方や態度、周囲の期待を受け入れる覚悟
- やりがいを見つけることのよさ、前向きに生きる人のたくましさ などなど・・・

また、ステージを舞台に見立てて演じていただきましたが、実はその準備が大変でした。「ステージ脇にある物を片付け、床をピカピカに磨いておいてほしい」とのリクエストがあり、職員と共に体育館掃除担当などの6年生が一生懸命作業してくれました。きれいに整った舞台を見て、狂言師の皆さんも大変喜んでくださいました。みんなで協力して整えた環境の中で素晴らしい演技を見て、「よかった」という成就感を味わうことも、一つの学びであると思います。

このように見てみると、この体験学習は、国語や社会の学習でもあり、道徳教育やキャリア教育でもあり、広く考えると生き方教育でもあったのだと考えます。

これからも、体験的な学習を積極的に取り入れていく中で、いろいろな活動に取り組む方々との出会いを求め、多くのことを学んでいきたいと思います。



※この体験学習については上毛新聞（2/2号）に掲載されました。

「6年生を送ろう週間」 2/24～3/2

3学期の大きな学校行事である6年生を送る会については、新型コロナウイルス感染症対策として、学年毎に実施することになりました。

最終日の3月2日（火）は、5年生の出し物の後に6年生が「一小ソーラン」を披露し、最高学年としての役割が引き継がれていくよう構成しました。

※保護者の皆様方に参観していただくことはできませんがご了承ください。



<下校時刻変更のお知らせ>

2月17日（水）・18日（木）

この日は令和3年度の学習指導計画編成作業を行うため、授業は5校時までとします。



下校時刻：全学年 14:10頃
ご理解とご協力の程よろしくお願いたします。